

平成 29 年 5 月 8 日

平成 29 年 3 月期 決算の概要

株式会社川島織物セルコン
京都市左京区静海市原町 265

(百万円未満切捨て)

1. 平成 29 年 3 月期の個別業績 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29 年 3 月期	29,300	2.8	1,090	8.9	1,142	6.2	1,346	670.3
28 年 3 月期	30,142	1.0	1,001	16.6	1,076	15.7	174	86.3

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29 年 3 月末	25,289	14,390	56.9
28 年 3 月末	24,007	13,046	54.3

2. 経営状況について

【全体状況】

当社は、高品質の価値ある商品の開発とサービスの向上に努め、ファブリックスにおけるリーディングカンパニーを目指し、各々の事業に取り組みました。

当事業年度には、名古屋ショールームを、名駅南エリアにある「LIXIL ショールーム名古屋」内に移転し、4月リニューアルオープンしました。これにより、窓や室内建具などのLIXIL商品とのコーディネートも含めたインテリアファブリックのトータルコーディネートが可能となり、利便性が大きく向上しました。商品面では、多様化する顧客ニーズに幅広く対応できるファブリックシリーズ「! 'm (アイム)」を、10月に発売しました。また、フロアカパリング商品(床材)においても、床リフォームを簡易に出来る商材シリーズ「おきらくゆか」を10月に発売、同シリーズに収録のユニットラグがグッドデザイン賞を受賞しました。

当事業年度における売上高は、身装・美術工芸事業、インテリアファブリック事業共に前年を下回ったことから、前年同期比8億42百万円(2.8%)減収の293億円となりました。

損益については、原価低減、経費削減などの効果により、営業利益は前年同期比89百万円増益の10億90百万円、経常利益は同66百万円増益の11億42百万円となりました。当期純利益については、近年及び今後の業績動向を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を検討し回収可能性のある部分について繰延税金資産を計上することとし、法人税等調整額3億58百万円を計上したこと、前年は特別損失として関係会社株式評価損8億14百万円を計上していたことなどから、前年同期比11億71百万円増益の13億46百万円となりました。

【事業別状況】

[身装・美術工芸事業]

綴帳など美術工芸織物の販売は好調でしたが、主力商品である帯の販売が苦戦したことから、売上高は前年同期比1億39百万円(5.2%)減収の25億64百万円となりました。

営業利益については、売上減少に伴う利益の減少により、前年同期比19百万円減益の48百万円の損失となりました。

[インテリアファブリック事業]

ホテル・宿泊施設、店装業者などの非住宅マーケットへの販売は堅調に推移したものの、全国主要百貨店や大手家具・インテリアチェーン店の販売を中心とした住宅系マーケット部門で主力のオーダーカーテンの売上を落としたことなどから、売上高は前年同期比6億98百万円(2.5%)減収の267億32百万円となりました。

営業利益については、原価低減活動などの効果で、前年同期比1億16百万円増益の11億38百万円となりました。

以上